

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

紀美野町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

和歌山県海草郡紀美野町

3 地域再生計画の区域

和歌山県海草郡紀美野町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、国勢調査結果では 1955 年の 21,743 人をピークに現在まで減少が続いており、2015 年では 9,206 人となっている。また、住民基本台帳によると 2020 年には 8,521 人となっており、国立社会保障・人口問題研究所による 2018 年推計の条件設定を踏襲した準拠推計によると、2040 年には 4,408 人になることが見込まれている。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、1985 年以降は老年人口が年少人口を上回っており、2020 年には年少人口が 581 人、老年人口が 4,014 人となっている。生産年齢人口（15～64 歳）についても、1985 年には 9,910 人だったものが 2020 年には 3,926 人となり、老年人口が生産年齢人口を上回っている。

本町の人口に影響を与える要因は、出生・死亡・転入・転出の 4 つであり、このうち、出生と死亡の自然動態についてみると、1980 年以降は死亡数が出生数を上回って推移し自然減が続いており、さらに、死亡数の超過は年々大きくなっており、2020 年においては、144 人の自然減となっている。また、合計特殊出生率をみても、2015 年～2017 年には 1.09 となっており、県及び全国より低い水準となっている。

転入・転出による社会動態については、増減を繰り返しながら減少傾向にある。1994 年には、転入数（432 人）が転出数（399 人）を上回る社会増となったが、以降は転出数が転入数を上回る社会減が続いており、2020 年には 39 人の社会減と

なっている。

このように、自然増減・社会増減のいずれにおいても減少が続いていることから、本町人口も減少が続いている状況である。

将来的に人口減少が続くことは、地域の担い手減少、地域産業の衰退、地域コミュニティの衰退などを繰り返させ、本町における住民生活や地域経済、自治体経営等に大きな影響を与えると懸念される。

これらの課題に対応するため、本町では「空・山・川のふれあいのある美しいふるさと」をめざす将来像とし、「みんなでつくるまちづくり」「子育て・教育のまちづくり」「福祉の充実したまちづくり」「安心・安全で住み良いまちづくり」「活力ある産業のまちづくり」の5つの基本方針を定め、本計画期間においては次の基本目標を掲げて目標の達成を図ることで、人口減少社会にあっても持続可能なまちづくりを目指す。

- ・基本目標1 紀美野の資源を活かした魅力ある「まち」を創る
- ・基本目標2 紀美野町へ新しい「ひと」の流れを創る
- ・基本目標3 ふるさと紀美野を愛する「ひと」を生み、育てる
- ・基本目標4 「しごと」を創り、活力ある産業と安定した雇用を創出する
- ・基本目標5 特色ある持続可能な地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	まちづくり活動に取り組んでいる地区数	5地区	8地区	基本目標1
	まちづくり推進協議会登録	64人	64人	
	農家民泊宿泊者数	787人	1,000人	
	農家民泊実施軒数	25軒	30軒	
	ふるさと納税寄附額	6,750,000円	25,000,000円	
イ	直近5年間の転出超過累計	330人	200人	基本目標2

	空き家登録数	42戸	50戸	
	移住交流推進事業により支援した世帯数	23世帯	35世帯	
	移住交流推進事業により支援した移住者数	42人	70人	
	田舎暮らし&しごと相談会参加者数	24人	30人	
	定住促進補助金利用件数	57件	100件	
	移住・交流に関する地域説明会参加者数	41人	100人	
	新規企業立地数	0件	1件	
	新規創業事業所数	18事業所	25事業所	
	新規就農者数	8人	10人	
	就農希望者研修受け入れ可能農家数	5戸	10戸	
	就農希望者研修実施件数	5件	10件	
	伝統産業等の後継者育成件数	0人	2人	
	シルバー人材センター会員数	176人	200人	
	新規雇用者数	187人	200人	
	町内事業所の従事者数	2,844人	3,000人	
ウ	合計特殊出生率	1.09	1.20	基本目標 3
	直近5年間の累計出生数	109人	125人	
	子育ての環境や支援へ満足度	3.88ポイント	4.00ポイント	
	学童待機児童数	0人	0人	
	全国学力学習状況調査	全国水準	全国水準以上	
	不登校児童・生徒の割合	1.2%	1.0%	
	公民館利用者数	23,479人	23,000人	
	社会教育団体登録数	88団体	88団体	
	町民大学講座受講者数	1,055人	800人	

	図書室貸出冊数	11,911冊	11,900冊	
	星の動物園来館者数	16,173人	25,000人	
	社会体育施設利用者数	38,709人	50,000人	
	社会体育団体登録数	35団体	35団体	
	スポーツイベント参加者数	1,950人	3,000人	
	文化祭・作品展示会の来場者数	1,554人	1,400人	
	文化センター利用者数	33,735人	34,000人	
エ	遊休農地の解消面積	81 a	200 a	基本目標 4
	有害鳥獣の駆除数	965頭	1,350頭	
	狩猟免許取得者数	16人	15人	
	ICT・IoT利活用経営体数	1 経営体	5 経営体	
	認定農業者数	57人	70人	
	新規就農者数【再掲】	8 人	10人	
	農業経営支援事業補助金申請件数	135件	160件	
	農産物出荷サポート事業 販売額	1,510万円	1,800万円	
	間伐材流通支援事業 年間搬出量	1,301m ³	1,800m ³	
	森林環境譲与税を活用した森林間伐面積	0 ha	150ha	
	商工会新規会員加入者数	28人	30人	
	小規模事業者経営改善資金利子補給申請件数	51件	60件	
	きみの共通商品券取扱店舗数	71店舗	80店舗	
	新規創業事業所数【再掲】	18事業所	25事業所	
	キャッシュレス導入事業所数	3 事業所	30事業所	
	観光入込客数（日帰り）	475,198人	550,000人	

	観光入込客数（宿泊）	33,991人	42,000人	
	観光入込客数（外国人宿泊）	287人	600人	
	生石高原年間登山者数	52,595人	60,000人	
	星の動物園来館者数【再掲】	16,173人	25,000人	
	ほんまもん体験事業年間参加者数	8,373人	12,000人	
	お土産品・特産品の開発数	0件	9件	
オ	住民意識調査で町に住み続けたいと回答した人の割合	62.3%	70.0%	基本目標 5
	耐震診断数	29件	33件	
	耐震改修事業補助	5件	5件	
	自主防災組織が主体となつて行う訓練（毎年）	7組織	12組織	
	住家被害認定士養成	21人	25人	
	防災行政無線のデジタル化	美里地区	町内全域	
	救命講習の開催数と修了者数	62回 1,035人	80回 1,500人	
	住宅用火災報知器の設置促進	75%	80%	
	交通事故発生件数	10件	10件	
	カーブミラーの設置数	73基	50基	
	特定健診受診率	37.7%	45.0%	
	平均介護度	2.19	2.25	
	地域サロン登録者割合（登録者数／65歳以上人口）	23.9%	25.0%	
	町道釜滝柴目線改良率	0%	100%	
	水道事業有収率	77%	85%	
	家庭用生ごみ処理機器購入補助件数	25件	25件	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

紀美野町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 紀美野の資源を活かした魅力ある「まち」を創る事業

イ 紀美野町へ新しい「ひと」の流れを創る事業

ウ ふるさと紀美野を愛する「ひと」を生み、育てる事業

エ 「しごと」を創り、活力ある産業と安定した雇用を創出する事業

オ 特色ある持続可能な地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る事業

② 事業の内容

ア 紀美野の資源を活かした魅力ある「まち」を創る事業

町には、みどり豊かな風景、貴志川水系の清流、夜空を彩る満天の星々など、町民が誇りと思うような自然があり、それに基づいた様々な地域資源がある。また、それらを活用し、行政、地域住民、団体などが、協働してまちづくりを進めている。このことから、より一層、地域資源を活かした地域まちづくり活動を推進し、さらには周辺地域や周辺市町村との連携も図りながら、魅力あるまちを目指す。

【具体的な事業】

- ・まちづくり活動組織の育成と支援
- ・農家民泊事業の拡大
- ・公園の整備と活用 等

イ 紀美野町へ新しい「ひと」の流れを創る事業

豊かな自然環境を有する紀美野町の「空・山・川のふれあいのある美しいふるさと」としてのイメージを高め、移住・定住の推進を図るとともに、企業誘致や地域産業の新たな担い手の発掘により、活力ある地域

づくりを目指す。また、移住・定住に至らなくとも、観光や都市農村交流等を通じて町とつながる関係人口の獲得・増加による地域の活性化に取り組む。

【具体的な事業】

- ・移住交流推進事業の展開
- ・創業・事業承継等の支援
- ・農業の担い手育成 等

ウ ふるさと紀美野を愛する「ひと」を生み、育てる事業

和歌山で一番子育てしやすいまちを目指し、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援と、特色ある教育の充実に取り組むことで、子育て世代が定住しやすく、子どもの生きる力と郷土愛を育むまちづくりを進める。住民による生涯学習・文化芸術・スポーツ等の活動の支援と活性化を図り、生きがいつくりと交流を促進する。

【具体的な事業】

- ・子育て支援体制の充実
- ・教育施設の整備
- ・サークル・団体活動の支援 等

エ 「しごと」を創り、活力ある産業と安定した雇用を創出する事業

町の豊かな自然を活かし、環境と共生した農林業を支援・育成し、農林業の活性化を図るとともに、町に雇用と賑わいをもたらすよう商工業の振興を図る。また、美しい町の自然や歴史、文化遺産などの多様な地域資源を活かし、観光振興を図る。これらを通じ、新たな仕事や雇用の創出による転出抑制や地域経済の発展により、活力あるまちを目指す。

【具体的な事業】

- ・生産組織・農家団体の育成
- ・観光資源の整備・発掘
- ・観光交流プログラムの開発と提供 等

オ 特色ある持続可能な地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る事業

道路・交通・情報基盤などの地域を支える公共インフラの整備を行い、暮らしやすいまちづくりを進めるとともに、近年の震災・異常気象など

が見られる中、より一層、地域の防災力の向上を図る。また、高齢化に伴い、地域で医療・福祉などでの支え合いの地域づくりも重要となってきた中、それらの仕組みを推進し、暮らしの安全・安心づくり、住みよいまちづくりを目指す。

【具体的な事業】

- ・地域防災体制の強化
- ・消防・救急・救助体制の充実
- ・へき地医療拠点病院の機能整備と診療所機能の充実
- ・地域の支え合いの推進
- ・水道施設の維持・管理 等

※なお、詳細は第2期紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

400,000 千円（2021 度～2024 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度3月末時点のK P Iの達成状況を取りまとめ、庁内において事業評価を行うとともに、毎年度9月に、外部推進組織である紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会において、各種施策の進捗状況や効果、K P Iの達成度合いの検証を行い、必要に応じて各種施策の見直しを検討する。また検証後は、速やかにホームページ等で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで